

10

様々な  
カタチ  
の  
支援

色々な  
チカラ  
の  
発揮を  
願う支援



## 歌のイメージを思い描けるような工夫

豊かな  
表現に  
つながる。



紙芝居や紙人形などを使い、  
歌詞の意味やイメージを理解しやすいように  
する。  
そうすることで、歌への思いを膨らませながら  
楽しんで歌うなど豊かな表現につながる。

コツ  
がある。

マークで、視認性向上



情報の授業、タイピングの基礎。

ア行(母音)を早く見つけられれば、上達できる。

「か」を打つとき、二つのキー(k+a)を探すのに各6秒かかるとすれば、「か」を打つのに12秒要する。aを見つけたことが1秒ですめば、所要時間は7秒に短縮される。

今の確かな手ごたえが学習を支える。

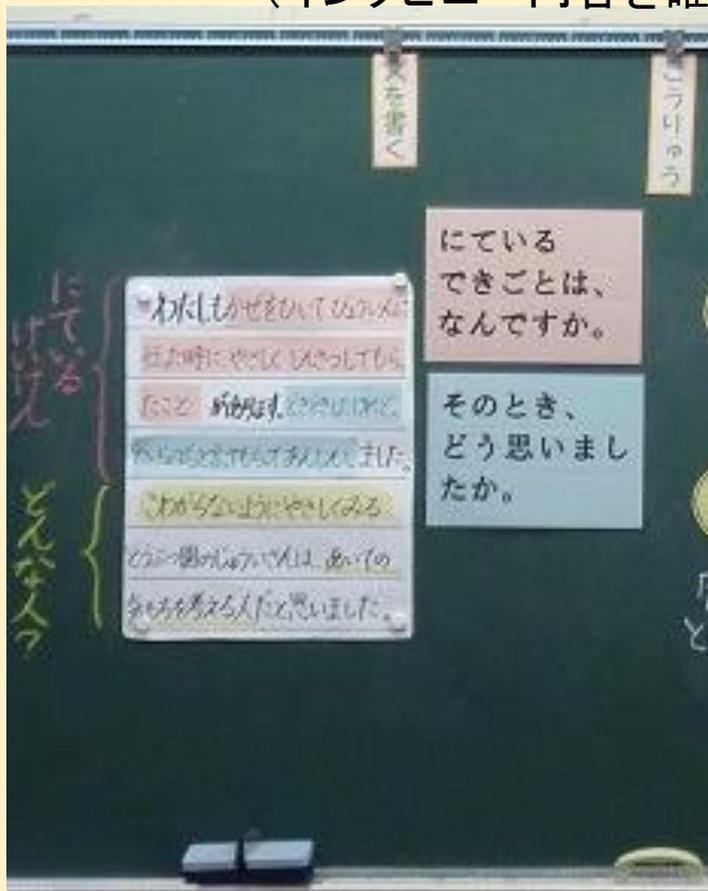
岩手県立  
紫波総合高等学校

# 無形 の 支援 ①

奥州市立  
常盤小学校

学習の展開、それ自体が支援になる。

STEP1. 学習活動を明示  
(インタビュー内容を確認)



三女でかく。  
今じゃうけん

STEP2. 学習活動のモデルを示す  
(インタビュー方法を確認)

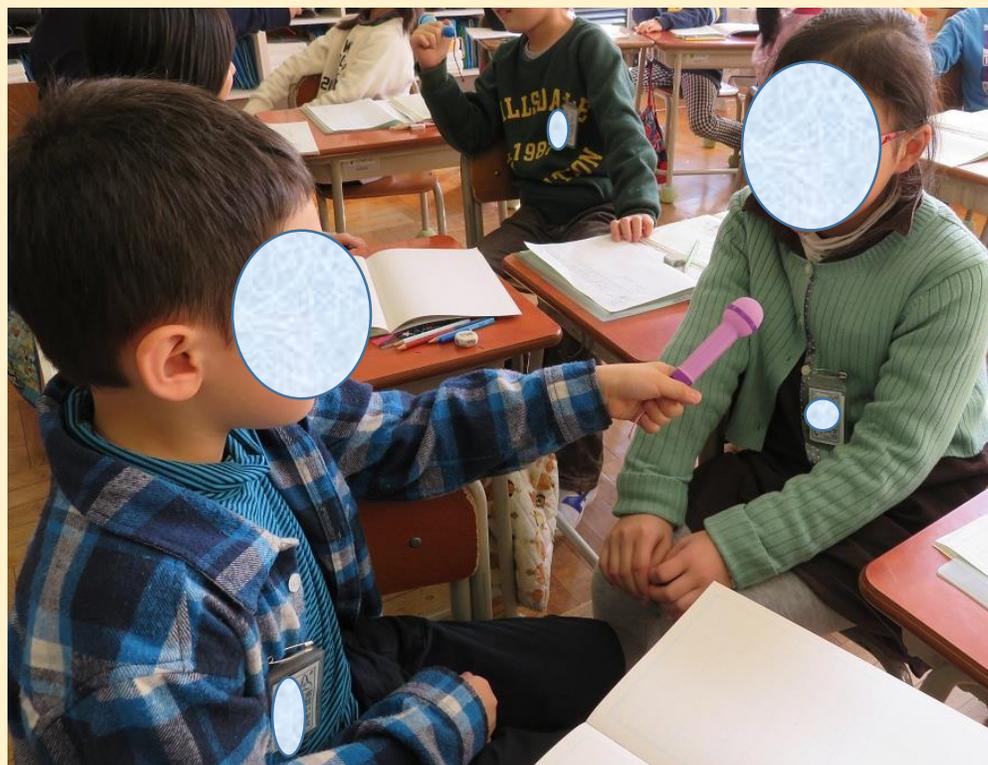


# 無形 の 支援 ②

奥州市立  
常盤小学校

## 学習の展開、それ自体が支援になる。

STEP3.学習活動の実施  
(訊かれることで自分の考えが言葉になる)



C1 似ているできごととはなんですか。

C2 わたしは、「薬を飲ませた」というところが似ているよ。  
わたしも、このまえ風邪をひいて休んだでしょ？

C1 あ～あ。あったあった。

薬がたくさん出たけど、大嫌いだから、すごく嫌だったの。でもお母さんがね、「大丈夫だよ。飲めばすぐ治るから。」ってくれて、がんばって飲んだよ。

C1 へえ～、そうなんだ。  
そのとき、どんな気持ちだったんですか？

C2 薬を飲めたときは、嬉しい気持ちだったなあ。

C1 そうなんだ。それは、がんばったね。……

# 無形 の 支援 ③

奥州市立  
常盤小学校

## 学習の展開、それ自体が支援になる。

STEP4. 学習活動のまとめ  
(自分の考え→言葉→作文)

わたしも、にがてなくすりをのむ  
のはきらいだ「けど、お母さん  
に「だいじょうぶだよ」と言わ  
れたから、あんしんしてのめま  
した。くす  
くすりをのめてうれし気持ち  
ちになりました。  
にがてなくすりをのませると「うふふ  
つ園のじいさんはすこし  
ななとおもいました。

C1 似ているできごととはなんですか。

C2 わたしは、「薬を飲ませた」というところが似ているよ。  
わたしも、このまえ風邪をひいて休んだでしよ？

C1 あ～あ。あったあった。

薬がたくさん出たけど、大嫌いだから、すぐ嫌だったの。でもお母さんがね、「大丈夫だよ。飲めばすぐ治るから。」ってくれて、がんばって飲んだよ。

C1 へえ～、そうなんだ。  
そのとき、どんな気持ちだったんですか？

C2 薬を飲めたときは、嬉しい気持ちだったなあ。

C1 そうなんだ。それは、がんばったね。……

# ユニバーサルデザインの意識を確かめ合う。

岩手県立  
紫波総合高等学校

## セルフチェック「ユニバーサルデザイン授業への取組状況調査」の活用

定期的なセルフチェックと、  
集計結果の周知。

授業づくりの心掛けを確認する。

### ユニバーサルデザインの授業への取組状況調査

教科		氏名	
----	--	----	--

取り組んでいる …………… 「4」 だいたい取り組んでいる …… 「3」  
あまり取り組んでいない … 「2」 取り組んでいない …………… 「1」

4月	9月	2月
----	----	----

I 授業の構造化（メリハリのある授業、見通しのある授業）			
① チャイムとともに始めチャイムとともに終わる			
② 「お願いします」で始まり、「ありがとうございました」で終わる			
③ 前時の振り返りをする（既習事項の確認、制作物の進捗状況の確認等）			
④ 本時の目標を明示する（板書等、いつでも確認できるようにする）			
⑤ 授業の導入、展開、終末の流れを知らせる			
⑥ 課題に取り組む時間の目安を示す			
⑦ 本時の学習の成果を確認する			
⑧ その他（ ）			
II 授業の工夫（指示・発問）			
① 注目させてから話す			
② 大きな声ではっきりと話す			
③ 主述を明確にした短い文で話す			
④ 一度に一つの指示をする			
⑤ 一つ一つ伝わっているか確認する			
⑥ 指名した場合は返事をさせる			
⑦ 「～です」ときちんと答えさせる			
⑧ その他（ ）			
III 授業の工夫（板書・プリント）			
① 色チョークを使い分けて見やすく書く			
② 板書の量はポイントを抑え最小限にする			
③ ノートをとる時間を確保する			
④ どこに何を書けばよいかわかりやすく示す			
⑤ プリントには氏名を書かせる			
⑥ プリントをきちんと保存させる			
⑦ ノートやプリントを評価する			
⑧ その他（ ）			
IV 授業への参加を促す工夫			
① 机上や机周りに余計な物を置かない			
② 必要な教材を確認する（忘れてきた場合はどうすべきか指示する）			
③ 導入は平易なレベルから入り、スモールステップで進める			
④ 補助教材を用いる（ICT、模型、実物など）			
⑤ 複数の活動を取り入れる			
⑥ 机間巡視を行い個別に声かけをする			
⑦ 肯定的な話し方を心がけ、できたことは意識的に褒める			
⑧ その他（ ）			
【意見等】			

# アイデア を 学び合う。

## セルフチェック「ユニバーサルデザイン 授業実践事例集の活用状況について」 の活用



自分の実践を  
事例集(2015)  
の工夫と照らし  
合わせ振り返り  
ます。



実践を発表し交  
流します。  
特におすすめの  
工夫を発表し合  
い、学校全体で  
取り組むことに  
結びつけます。

一関市立  
萩荘小学校

### ユニバーサルデザイン授業実践事例集の活用状況について 氏名 ( )

#### 1. 読む力を育てる工夫(実践状況→よくやる◎ やったことがある○)

工夫	実践状況	やってみての感想・こんな工夫もしています
1 板書や色や位置を統一する	◎	色や位置を統一することで、見出しを子供に分かりやすくすることができ、授業の展開がスムーズに進む。
2 授業の展開の仕方を統一	◎	導入、展開、まとめの順序を統一し、授業の流れがスムーズに進む。
3 マークやマグネットの活用	○	
4 拡大教科書の使用	◎	教科書が小さく見えない時は、拡大機能を使い、子供に分かりやすく見せる。
5 単語を語句で区切る	◎	単語と語句を区切ることで、読みやすさを高める。
6 色分けして言葉を探す	◎	色分けすることで、言葉の探しやすさを高める。
7 細かな作業を画像にして拡大	◎	細かな作業を画像にして拡大することで、見やすさを高める。
8 不必要な情報を遮断	◎	不必要な情報を遮断することで、授業の重点を明確にする。
9 付箋の使用で注目を促す	◎	付箋の使用で注目を促すことで、授業の重点を明確にする。
10 その他		

#### 2. 書く力を育てる工夫(実践状況→よくやる◎ やったことがある○)

工夫	実践状況	やってみての感想・こんな工夫もしています
1 ノートと同じマス目黒板使用	◎	黒板のマス目とノートと同じマス目を使用することで、書きやすさを高める。
2 教科書ページの板書	○	
3 教科書と同じ書体・大きな枠	◎	教科書と同じ書体・大きな枠を使用することで、読みやすさを高める。
4 解答欄に罫線	◎	解答欄に罫線を使用することで、書きやすさを高める。
5 書く位置の始点を示す	◎	書く位置の始点を示すことで、書きやすさを高める。
6 書道の道具を工夫		
7 書く量や時間の目安の指示		
8 その他		

#### 3. 表現する力を育てる工夫(実践状況→よくやる◎ やったことがある○)

工夫	実践状況	やってみての感想・こんな工夫もしています
1 出だしのきっかけを用意する	◎	出だしのきっかけを用意することで、話しやすさを高める。
2 感情を表現するための語彙	◎	感情を表現するための語彙を提供することで、話しやすさを高める。
3 話し手・聞き手の役割整理	◎	話し手・聞き手の役割整理を行うことで、話しやすさを高める。
4 話し合いの内容を文字で確認		
5 感じ方の多様性を引き出す		
6 スモールステップで抵抗軽減	◎	スモールステップで抵抗軽減を行うことで、話しやすさを高める。
7 その他		

#### 4. 見通しを持つ力を育てる工夫(実践状況→よくやる◎ やったことがある○)

工夫	実践状況	やってみての感想・こんな工夫もしています
1 学習の状況を表にまとめる	◎	学習の状況を表にまとめることで、見やすさを高める。
2 やるべきことを字や絵で提示	◎	やるべきことを字や絵で提示することで、見やすさを高める。
3 学習の範囲や順番に印	◎	学習の範囲や順番に印を付けることで、見やすさを高める。
4 当番の割当てをマグネットで	◎	当番の割当てをマグネットで表示することで、見やすさを高める。
5 行事や1日の予定を掲示	◎	行事や1日の予定を掲示することで、見やすさを高める。
6 作業の完了を視覚的に操作	◎	作業の完了を視覚的に操作することで、見やすさを高める。
7 その他		

# 指導方法 の履歴を 残す。

授業環境の整備、その一環として  
指導方法の統一を図る試み。

・教科書の指導方法を基本とし、学年間でそろえた方が良いと判断した学習内容や学習方法を記録用紙に記録します。

(例) かけ算九九の暗唱の習熟方法(上り, 下り, 飛ばし), 合格認定の方法等

(例) さくらんぼ計算の書かせ方(10をつくる時の数字のくり方等)

・その他引き継いだ方が良いと思われるものを資料としてファイルします。

・26年度に作成したものを, 27年度に引き継ぎ検証しながら, 加除修正を加えます。

滝沢市立  
滝沢第二小学校

※学年で共通理解を行った指導方法や内容, 手順, 習熟方法等 No.

4年生 算数科 単元名 わり算の筆算(1)

教科書(上)下) 3 | ページ内容

○  $3 \overline{)72}$  や  $5 \overline{)735}$  のような計算でも, 必ず

$3 \overline{)72}$   $5 \overline{)735}$  と指でかくし, 商がどこから立てるか確認する。

○  $4 \overline{)256}$  は,  $4 \overline{)256}$  と指でかくし, 百の位に商が立てられない時は, 間ちがえ防止のため X と書く。

以下  $3 \overline{)45} \div 2 \overline{)45}$  になっても同じようにする。

# おわりに

本事例集の刊行に際して、ご協力をいただいた皆様に心から感謝申し上げます。初版は、県内外で多くの活用をいただいております。本事例集も引き続きご利用いただければ幸いです。

さて、全国的にユニバーサルデザイン授業の取り組みが普及推進されております。ユニバーサルデザイン授業という呼び名は、多くの教師の興味関心を喚起し、仲間同士で話題を共有することに役立っています。

ユニバーサルデザインは、子どもたちの多様性を認め、どの子どもにもわかる、できる、手ごたえがある学習を提供しようというものです。

子どもたちの多様性への対応は、その一面に個別に子どもたちを見るということでしょう。そこに特別支援教育との接点がありました。

しかし、「どの子どもにもわかる、できる、手ごたえがある学習を提供しよう」という理念は、通常教育での授業づくりにおいては伝統的で、かつ普遍的なものでした。ユニバーサルデザイン授業とは、通常教育との接面を予め有しているものだと思います。

ユニバーサルデザイン授業は、特別支援教育と通常教育のリンクとすることもできます。本事例集も特別支援教育と通常教育のリンクです。

そして、本事例集が、これをお読みになっている皆様と、子どもたちのリンクになりうることを願っています。

附属学校特別支援  
教育推進専門委員

**佐々木全**

(岩手大学教育学部)